



七里っ子

【学校教育目標】

確かな学力 豊かな心
健康な体 郷土愛

道志小学校 学校だより 令和6年3月18日

文責：校長 佐藤龍文

思い出深き巣立ちの日～第25回卒業証書授与式～

3月15日に第25回卒業証書授与式が行われました。当日は穏やかな晴天となり、美しい富士の白き頂が卒業生の門出を祝ってくれているかのように輝いていました。来賓と保護者の皆様の温かい眼差しに見守られながら、式は厳粛に進められました。卒業生8名は、全員が元気に参加し、保護者の皆様に成長した姿をご覧いただくことができました。実は卒業式直前、子ども達の欠席者が増えている状況がありました。事前の呼びかけや合唱練習も全員が揃わず心配していましたが、当日は在校生も含め全員が揃って式を行うことが出来ました。チーム道志小として子ども達と教職員が創り上げた卒業式には、互いに支え合う心の一体感があり、会場は終始温かい雰囲気にも包まれていました。

今年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、学校生活もようやく落ち着きを取り戻しつつありましたが、6年生は、小学校生活のほとんどの期間を感染症対策のために制限の多い毎日を送ってきました。そんな中、最高学年となった今年は学校のリーダーとして下級生を引っ張り「スマイルあふれる学校」を目指して前向きに行動してくれました。また率先垂範であり、6年生が下級生の世話をしたり、一緒に遊んだりすることを通して児童会の目標が全体に波及し、みんなで仲の良い学校づくりに取り組むことができました。まさに有言実行の素晴らしい活躍でした。

卒業式での6年生の振る舞いは、こうした1年間のあゆみが表れていたように思います。細かいことにも意識をもって受け取った卒業証書、張りのある聴きやすい声で自分達の気持ちを届けた呼びかけ、歌詞の意味を噛み締めながら美しいハーモニーを奏でた合唱、そのどれもが最高学年として素晴らしい成長の姿を示してくれました。卒業生に呼応するかのように、在校生として参加した4・5年生も6年生への感謝と後を引き継ぐ決意の心がしっかりと伝わってくる立派な呼びかけと合唱を披露してくれました。また、1～3年生も含めて一生懸命に準備してくれた壁面の飾りやメッセージに囲まれた会場は、互いの心と心が織りなす協奏曲が響き渡るかのように感動的な思い出深き卒業式となりました。

末筆になりますが、ご出席いただいた来賓の皆様、保護者の皆様、6年生のために全力で頑張ってくれた在校生の皆さん、細部まで丁寧にしっかりと指導し、式の様々な運営に尽力してくれた教職員の皆さんに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

威風堂々と力強く羽ばたき青空に舞い上がった8羽の鳳雛（ほうすう）の巣立ちを心からお祝いすると共に、道志中学校でのさらなる飛躍と幸多き日々を願っています。

